

理事長挨拶



社団法人 大正琴協会理事長

元内閣総理大臣 衆議院議員

海部 俊樹

読者の様、会員、愛好者の皆様には如何がお過ごしでしょうか。

日頃は社団法人 大正琴協会の会務運営に格別なご理解とお力添えを賜り、誠に有難く厚く御礼を申し上げます。

早いもので協会設立以来12年になりますが、加賀国林野原の縁起が大正琴を通して、それぞれの地域社会で生楽学芸の普及・振興活動に携わるとともに、年間180から200件の後援者義援金許可申請をしている現状を伺っておりますが、平均して2日に1回は全国のどこかで大正琴の演奏会が開催されていることになりまして、その催事に参加する人員も毎年20万人という驚くべき記録が覆り書きされていることを伺い、日々の努力の偉大さを実感しているところでございます。

今年3月25日から8月25日までの半年間におたり、21世紀最初の万国博覧会「愛・地球博」が大正琴発祥の地で開催されております。中核地点の6月23日には創設されてから大勢の人々を魅了してきた日本固有の有形無形であります大正琴音楽の素晴らしい音色を「過去、現在、未来、そして人から人への伝承を」のサブテーマを掲げてメイン会場から18グループ、600名の方々のご協力をいたたいて発信することができました。

趣向として冒い始め、本年にわたって培ってきたものを新たな人々に伝えるべくことは大変に素晴らしいことであり、文化の継承と言えます。今夏のように潤ききった梅雨空ばかりでなく近年特に目立っている若者や、小、中学生等が積極的観客等には家族、兄弟愛等で賞たされるべきものが創始しているやにお見受けしておりますが、一人ひとりが、よくよく反省をし執念断ずることが大切と考えているところであります。

万物はそのもの一つでは存在しませんし、森羅万象お互いに相寄り相促って存在していることを自然から学ぶべきでないでしょうか。生きてゆく以上は、自分を磨き、よい種をまき、雑草を取り除き、よい肥料を与えることこそ其の道であり、自然から教えられる教育の基本と思っております。潤ききった夏です。初夏です。豊かな潤いのある音楽、音色で人々の心を癒せるよう心から願いつつ皆様へ代えさせていただきます。

平成17年度決算報告書

1.日 時 平成17年6月18日(水)
国会 午後2時00分
閉会 午後2時19分

2.期 所 名古屋府4900番 丁目31番13号
名古屋オーガンパルス

3.出席状況 委員の総数 4,557名
出席委員数 2,332名(出席率51%)

4.議事の概要

(1)開会

最初に、国会長の北林武雄氏が挨拶。
副議長一理事が、開会を宣言。

(2)挨拶

北林武雄理事長が挨拶。
副議長兼理事代行の櫻井誠氏が挨拶。

(3)議決案件

国会長が、議決題目を議場に述べたところ国会長一任の旨あり。よって、北林武雄理事長を本議会の議長としたの旨述べたところ、全会一致をもって議決し、同氏は、これを了す水し議長となった。議長は、本議場に自ら挨拶の報告をされた。議長は、正会員現在数の過半数の任務があったので、本議会が成立した旨を述べた。

(4)議事録署名人選出

議長が、議事に先立ち議事録署名人2名の選出について述べたところ、議員一任の投票があり、全員異議なく賛成したので、議長は、余任社理事兼及び副議長兼理事を指名し、これを議場に述べたところ、全会異議なく承認した。

被選任者らは、いずれもこれを承認した。

5.議 事

第1号議案 平成16年度
常務委員承認に関する件

議長が、常務委員長古川淳平報告に本件議案の説明を求めた。

同氏は、予め配布した資料をもとに本報告書について詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に述べたところ、全会一致をもって賛成とあり承認可決した。

第2号議案 平成16年度

収支決算承認に関する件

議長が、収支実行事務局長に本件議案の説明を求めた。

同氏は、予め配布した資料をもとに収支決算について詳しく説明した。また、本収支決算によらない収支の総量が、会議録、議決書から国庫に納付された合計額を、議決書と定

量となる旨を述べた。
引き続き理事を代表し、総務執行部中核、計算課長及び理事の職務執行状況を事前に調査したところ、いずれも適正妥当であることを認め全員を報告した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に述べたところ、全会一致をもって賛成とあり承認可決した。

第3号議案 平成17年度収支計画追加及び

収支予算書修正の件

議長が、収支実行事務局長に本件議案の説明を求めた。

同氏は、予め配布した資料をもとにEXPO大阪万国コンチート開催に伴い、平成17年度の事業計画を追加すると共に収支予算書を修正する必要があることを詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に述べたところ全会一致をもって賛成とあり承認可決した。

6.閉会

以上をもって、収支実行大臣等国会第2回通常国会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその報告を述べ、閉会した。そして、副議長一理事が閉会を宣言した。

上記決議を明確にするため、議長及び理事署名人2名に署名押印する。

平成17年6月18日
社団法人大阪労働会 議事録署名

議 長 北 林 武 雄

議事録署名人 余 任 社 理 事 兼

副 議 長 兼 理 事 兼

副 議 長 兼 理 事 兼

副 議 長 兼 理 事 兼

副 議 長 兼 理 事 兼

副 議 長 兼 理 事 兼

副 議 長 兼 理 事 兼

副 議 長 兼 理 事 兼

平成16年度活動実績報告書

平成16年4月1日から平成17年3月31日

(収入の部)

基本財産運用収入	18,500円
会費・入会金収入	16,747,000円
事業収入 生涯学習フェスティバル	5,718,500円
定期委員会 印刷料	10,308,000円
関係支援補助金	3,758,000円
入場料	0円
事業収入計	19,773,500円
雑収入	508,600円
売却物収入	5,000円
当期収入合計	37,038,600円
前期繰越収支差額	12,493,067円
収入合計	49,531,767円

(支出の部)

1. 事業費

全国生涯学習フェスティバル	4,888,377円
林学学習印刷事業	1,094,353円
イベント地場費	2,508,000円
普及地方委員会事業	588,523円
協会土曜講座・講演会	268,124円
地域講座等場成費	1,508,000円
定期委員会	10,048,307円
指導者研修会	268,601円
雑用費	573,300円
パンフレット	288,600円
ホームページ	63,000円
印刷会費	12,000円
計	22,137,626円
2. 管理費	15,058,650円
当期支出合計	37,197,277円
当期収支差額	-158,677円
次期繰越収支差額	12,334,420円

貸借対当表

平成17年3月31日現在

I 増加の部	0円
II 減少の部	161,643円
当期正味財産減少額	161,643円
前期繰越正味財産額	38,691,408円
期末正味財産合計額	38,529,819円

貸借対当表

平成17年3月31日現在

〔 I 資産の部 〕	
1. 流動資産合計	12,793,478円
2. 固定資産（基本財産合計）	25,000,000円
その他の固定資産	1,000,587円
固定資産合計	26,000,587円
資産合計	38,794,065円
〔 II 負債の部 〕	
1. 流動負債合計	254,246円
〔 III 正味財産 〕	
（うち当期正味財産減少額）	(161,643円)
負債及び正味財産合計	38,794,065円

第13回大正琴定期演奏会終了報告

去る平成17年2月6日(日)に宮崎県宮崎市のワールドコンベンションセンターサミット(宮崎シーガイア)において「神話のふるさと日向の國に湧き立つ大正琴の旋律」をテーマに「第13回大正琴定期演奏会」が開催されました。会場となったサミットホールは一般的な音楽ホールと違い、直径17mの大シャンデリアが会場を包みこむ華やかな宮内苑のパーティーホールで、これまでになく「絢爛豪華」という言葉がぴったりの演奏会となりました。

過去の定期演奏会は、参加者の交通の便を考慮して大都会圏で開催してきたため、当回は九州地区で初となる今回の演奏会の参加者減少を懸念する声もありましたが、予想に反して1,000名を超える多くの方にご出席いただいたうえ、開催地である宮崎県のみならず鹿児島コンベンション協会と宮崎シーガイアの絶大なるご支援により、当場者はもちろん来場者にも喜んでいただける演奏会となりましたことを、心より感謝いたしております。

全国にお住まいの大正琴協会の會員に、協会主催の演奏会に参加していただける機会を増やすためにも、今回の演奏会の意義は大きいと確信いたしております。今後地方都市で演奏会が開催される際には、地元会員の積極のご協力をお願い申し上げるとともに、各協会実行委員の皆様のご声援に感謝申し上げます。「第13回大正琴定期演奏会」の終了報告と致します。

第13回大正琴定期演奏会

実行委員長 北林 豊



第13回



第13回



第13回



第13回



第13回

EXPO大正琴コンサート終了報告

21世紀最初の万博「愛・地球博」が平成17年3月25日から同年9月25日までの半年間開催されることになっています。その中間地点の6月23日に「EXPO大正琴コンサート」が開催されました。大正元年(1872年)に名古屋市長在任の森田昌高氏(本名「山口仁三郎氏」)によって制作されてから130有余年、その時々々の愛好者を含めると延べ何百万、何千万と想像を絶する人達に愛されてきました。此の度は協会として「過去、現在、未来そして人から人への旋律」をテーマとして限りない大正琴の文化的魅力を国内外の人々に伝承する有意義な催事と位置づけ、「愛・地球博」に掲げているサブテーマの「人生のわざと智恵」に適合していることから企画させていただきました。出演団グループで200名がそれぞれの団体の特徴を活かし大勢の人達に支持されている民謡、演歌、桐情歌、ポップス、クラシック等、幅広いジャンルの演奏で2,200人の観客からの喝采を浴びました。現在の演奏者が再び万国博の大正琴に参加できる可能性は望みの薄いことと思いますが、このチャンスに挑むことができましたことをお互いの生涯の誇り事として秘かに秘めあって披露で活かせることを願ってやみません。ゼロ対零上のセキュリティの厳しさを改めて多大のご迷惑をおかけしましたことをお詫言申し上げますとともに、各団体のボランティア精神でのご協力に心から感謝して終了報告に代えさせていただきます。



会誌誌上り

琴心流 標澤 鈴江

大正琴と私

「誰にでも優しく美しく弾ける」とのキャッチフレーズに誘われて始めた大正琴でしたが、入門して20数年、指導する立場になりました。20年の歳月が流れました。当初はこんなに長く続くなど思ってもいませんでしたが、目を追うごとに楽しさが増し、奥の深さを知り、気が付けば大正琴に魅了され、夢中に成り、究に私は人生の中心を大正琴と一緒に歩み、現在生活の中でも大正琴中心になっております。指導に出る様になりまして、大勢の方々に出会い、懇れ合いボランティア等にも参加させて頂いて、癒しや私かなを視山織き、充実した生活に幸せを感じ、心から感謝の毎日です。

大正琴は私の「宝庫」、酒を倒れば、いつも過ぎし日々をキラキラとした美しい思い出が脳裏をめぐります。このごろ年のせいか少々鬱気になることがありますが、そんな時、我が琴心流の御家元が「大正琴は生涯学習なのだから、定年や退職は無いよ、頑張らなさい」といつも優しく励まして下さいます。夢や目標を失うと老いると聞きます。打ち込めるものが有るといことは幸福に非せず、これからそれぞれの年齢の景色が自せるように健康に氣を付けて経過していきたいと思っております。



選考委員表彰受賞おめでとう

社団法人「大正琴協会会章規定」に基づき、平成27年4月8日に下記の皆さんが理事長表彰状を受賞されました(敬称略)

◎規定第22条3項 当協会の実業を高めるにふさわしい功績があった者(2名)

長 澤 康 宏 岡山県和気郡津和野町 | 迫 田 永 彦 広島県広島市東区野町

◎規定第22条4項 指導者として永年にわたり大正琴音楽の指導に尽力した者(30名)

宮 宅 弘	秋田県鹿角市岩崎町	栗 田 康 雄	愛知県高浜郡七宝町
本 城 和 子	岡山県赤松郡吉陽町	高 橋 正 子	埼玉県沼川町吉川町徳地
伊 藤 文 敏	大阪府吹田市東青雲町	飯 島 金 女	埼玉県さいたま市西区三橋
熊 千 代	長野県岡谷市1001東	宮 下 翠 直	埼玉県上尾市原市
亀 山 か ず	石川県七尾市二京町	竹 島 尤 子	愛知県江南市柳田町
伊 藤 久 子	名古屋市中区栄	北 松 京 子	名古屋市中河区吉津
藤 部 て る 子	静岡県富士市藤岡本町	島 崎 敬 子	愛知県豊田市大清水町
安 藤 寿 子	名古屋市中区栄地区比	高 谷 川 浩 典	名古屋市中区北久子町
田 中 暢 子	埼玉県熊谷市新堀	轟 貴 士 子	静岡県藤枝市下宮園
金 田 眞 知 子	東京都杉並区上井草	山 崎 陽 子	静岡県藤枝市藤ノ谷
白 崎 美 穂 子	神奈川県相模原市上野原	宮 沢 智 子	長野県長野市黒部
西 田 ゆ う 子	静岡県田方郡玉川町	廣 川 榮	茨城県茨城県鹿野町
外 川 千 志 子	静岡県藤野市御宿	上 野 良	宮崎県西諸県郡野尻町
古 田 和 子	静岡県浜北市横須賀	岡 尾 い と	岐阜県恵那市大井町
三 井 利 恵	長野県上水内郡豊野町	小 田 切 清 子	東京都三鷹市中原
石 川 き よ 子	愛知県愛知郡東郷町	飯 田 貴 己	埼玉県浦和市山手松木町
藤 山 吉 久 子	岐阜県本巣市御幸中島	古 川 文 子	千葉県東金市宮
森 本 早 苗	奈良県奈良市宮内元町	岡 本 直 三	東京都武蔵野市地味町
松 本 桂 雄	熊本県熊本市八景水谷	長 島 の ぶ 子	千葉県白武郡城崎町
尾 上 秋 子	熊本県本渡市城下町	本 橋 雪 子	埼玉県飯能市飯元
逸 見 八 智 子	愛知県知多市南宮が丘	藤 代 久 美 子	千葉県東金市中野
大 村 久 子	名古屋市中区栄地区北町	小 山 信 子	東京都町田市小山町
藤 藤 芳 子	神奈川県相模原市大野台	増 田 香 野	埼玉県鴻巣市蓮田
綱 崎 り 子	神奈川県厚木市上萩野	渡 辺 雅 子	長野県佐田町村
小林 志 美 子	神奈川県厚木市上萩野	今 尾 正 子	長野県諏訪市海善寺
樋 口 節 子	神奈川県厚木市神岡	北 沢 直 美 子	長野県駒ヶ野市赤穂海田
原 井 方 雄	愛知県丹羽郡大口町余野		

受賞者の皆さん、おめでとうございます。今後とも後継者育成と大正琴音楽の文化的地位向上のため一層の推進をご祈念申し上げます。

③ 大正琴協会の活動報告 平成

☆第17回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会

- 時 期 平成17年10月13日（木）
- 会 場 鳥取県立倉吉未来中心大ホール
鳥取県倉吉市駅前寺町212-5 TEL:0858-23-5399

☆平成17回全国生涯学習見本市出版事業

- 時 期 平成17年10月9日（日）～10月15日（土）7日間
- 会 場 鳥取県立体育総合運動公園内鳥取県民体育館

☆第28回国産酒協会

- 時 期 平成17年12月7日（水）18時00分～
- 会 場 ホテルフロンティア青森
東京都港区南青森14-4丁目17番28号 TEL:03-3409-1541

☆第14回大正琴定期演奏会

- 時 期 平成18年2月11日（土）～ 2月12日（日）
- 会 場 神奈川県民ホール
横浜市中央区山下町3-1 TEL:045-623-3728

編集後記

「苦れる子育ては久しからず」の執筆のごとく激しい悩みをする者は長く悩めることもなく直えるという「画説版」のテレビ番組のように「図解感傷」は汗の床潤を問わず繰り返すことが常のようです。

家庭においても然りです。経済成長の名残りで知らず知らず親子の絆、感覚が鈍化し、心の距離を詰め、全員で解決しようと安易な方法、手段を選んだことが原因で、育った子供は難題や苦に耐えることを知らない、平気で安易な道程を選ぶことが身に染ってしまっただけに映ります。

人として、社会の一員として価値、理念の持たないまま巣立つ若者に嘆き、人の心理の弱点を巧妙に操る器や込め許数などで鑑賞できない世の中に驚愕を感らしているかのようテレビ番組を自己流で楽しみ、かつ期待している昨今です。

小自や、動物が我が子を育くむ所作に感動し、人間として学ぶべき自然崇のルールに関心を持てる人が多くなることを望んでいるこの頃です。

東原分の道訓に「不自由を常と思えば不足なし」「己を責めて人を責むるな、及ばざるは過ぎたるより勝れり」を心して記す。